

# 第 68 回実技セミナー in 東京 アドバンスコース



～包括的食支援をマネジメントしていくために～

## 開催報告

開催日時：2018 年 6 月 9・10 日（土日） 土：13:00-20:00／日：9:00-12:30

開催場所：ラックヘルスケア株式会社 東京オフィス

主催：NPO 法人 口から食べる幸せを守る会

共催：ラックヘルスケア株式会社

後援：株式会社クリニコ 日清オイリオグループ株式会社 渡辺商事株式会社 株式会社大塚製薬工場

### 開催目的

KTBC ツールを用いて、対象者を包括的に支援するための基本事項や展開方法が理解できることを目的として開催します。また、食べる支援のスキルアップが図れるよう、講義・グループワーク・実技演習などを組み合わせて、食事介助の基本的な実技指導を行います。

### ～KTSM 実技認定者（講師・アドバイザー）一覧～

<敬称略>





氏名	所属	職種（摂食嚥下に関する資格）
小山 珠美	NPO 法人口から食べる幸せを守る会® 理事長 JA 神奈川県厚生連伊勢原協同病院	看護師 日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士 KTSM 実技認定者

### ～セミナーサポート～

氏名	所属	職種（摂食嚥下に関する資格）
金 志純	社会福祉法人 鶴風会 東京小児療育病院	摂食・嚥下障害看護認定看護師 KTSM 実技認定者
山下ゆかり	医療法人社団 永研会 ちとせデンタルクリニック	歯科衛生士 KTSM 実技認定者
剣持 君代	公益社団法人 群馬県医師会 群馬リハビリテーション病院	看護師 日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士 KTSM 実技認定者

アンケート集計結果（参加者 16 名 回収数 14 名）





【職種】

回答	票数	%	
医師	0	0%	
看護師	8	57%	
歯科医師	3	21%	
歯科衛生士	0	0%	
栄養士・管理栄養士	0	0%	
言語聴覚士	2	14%	
作業療法士	0	0%	
介護職	0	0%	
薬剤師	0	0%	
その他	1	7%	

【勤務施設】

回答	票数	%	
病院	6	43%	
施設	3	21%	
診療所	1	7%	
在宅訪問	4	29%	
その他	0	0%	

【経験年数】

回答	票数	%	
1～4年	2	14%	
5～9年	3	21%	
10～19年	3	21%	
20年以上	6	43%	

## 【参加前と参加後で考え方がどのように変化しましたか？】

頭のなかで、考えているだけで具体的にしていなかったと、自分を見つめ直すことができました

具体的に言語化して、行動に移すことを考えます

参加前、認定看護師としての役割を果たせていない自分に不甲斐なさを感じ、今何をしたらよいかもわからなくなっていました。何かの糸口を見つけたくて小山先生の講義を申し込みました。思いを言語化し相手に伝えること、目標は数値化して達成するもの、できないではなくできることを考えることを教えていただいたことで、気分が晴れ、自分にやれる事がまだあるかなという思いが湧いてきました。ありがとうございました。

目標達成への組み立て方が明確になりました。

また、それぞれが相手を尊重しながらグループワークを進めることができ、仲間意識が高まっていくのを実感しました。小山先生のセミナーに参加することでできた組織改革の1スキルとして貴重な経験になりました。

頭でわかっていたことを言語化することで、やりたいこと、やるべきことがクリアになりました。

自分の考え方に甘い部分があるのは、自分の思考パターンの中に、徹底した言語化と”なぜ？”と突き詰める姿勢が足りなかったからだと感じた。

小山先生のお話を聴いていて、先日テレビで見た、エンジェルズ大谷翔平選手の座右の銘「先入観は可能を不可能にする。」という言葉を思い出した。今後は、何故・どうして？と自分の考えを磨き突き詰めていく。

想いはあっても、何も変えようとしていない自分自身を確認する事ができました。現状にとどまっていたはいけない。日々、変わっていく現状に流されず、自分の信念を持って進んでいく事の大切さを知り得ました。

自分に自信がなく、しかし次々に仲間が増えていき、需要が増えて行くようになり、上手く進める策を学びたく参加しました。参加前は、マイナス思考だった。頑張っているつもりなのに、時間だけが過ぎているように思ったり、認定試験のための事例がないと悩んでいるばかりでした。しかし、参加したことで、

- ・まずは自分自身が動く
- ・ポジティブに考えていく、自分に自信をつけて、自信を持つ
- ・実技認定の提出事例を見つけて、お盆までに事例合格をもらう

実技試験に受かる！

- ・『ヒト』との関係を整理して、チームの仲間が動きやすい環境を整えよう

など、以前であれば、辛いとか、出来ないと思っていたら良かったはずなのに、達成させる楽しさを感じている自分に驚いています。

「将来の達成目標を過去完了形にする」ために、まずは過去を振り返り、反省し、将来に繋げたいと思います。

保険点数や介護保険点数を上げるために動いてはいたこと、改善を図ろうと動いていたことは良いことと、自分を励ますことができるようになったこと、しかしその動きはチマチマしていて、時間だけが過ぎていた！と目を瞑ることなく反省できました。これまでの良いところは今後も伸ばして、できていなかったところは反省して改善させていきたいと思っています。早速、この一週間で、現状を把握し、まずは、今年半期の目標件数を立てると決められ、自分に自信をつけるためにも、目標を達成させようと思えるようになりました。また、小山先生からはもちろん、小山塾二期生の参加者の皆さんからも良い刺激を受けました。小山先生についていきたい！と思って来ましたが、自分独りで抱え込んで足踏みするのではなく、小山先生にも小山塾二期生にもいつでも素直に頼って、早く事を進めよう、と思っています。

参加前は、自分自身のことについて漠然としか理解できていませんでした！小山先生の講義やご指摘をいただき、自分自身の弱み、課題を明確にすることができました！今後は個人やチームとして、目標をしっかりと明確化させ・数値化・内的言語から外的言語へ・プラス思考がいかに重要であることを実感させられました！

毎年職場のタスクとして個人目標の設定はするが、達成の時期はいつも半年後や1年後に設定していた。今年度は1か月単位での取り組みを行おうと思った。

セミナー参加前後で「チーム」についての考え方が変わりました。参加前は、目的や目標を共有して、その達成のために協力し合う集まりというくらいの漠然としたイメージでしたが、参加後はチームとは「1+1>3」となるような、チーム成員の一人一人が専門性をもって責務を果たし、お互いに尊重し合って、建設的な意見を述べ合い、ゴールに向かうプロセスを共有できる組織だと考えるようになりました。私も言語聴覚士としてそのようなチームの仲間となれるように観察眼や評価・問題解決能力、食事介助スキルなどを切磋琢磨していきたいと思います。

小山先生の本を読んだ本を読んで知識としてはあったが、研修を受けてみて、これから実践していこうとする大きな自信につながった。研修で学ばせていただいたエビデンスは、在宅で大いに使っていけるツールとなり、経口摂取の困難な患者さんを救っていただけるものと確信した。

KTBCの取り組みの良さはわかっているのに、現場に思うように浸透できないもどかしさに苛まれていました。今回の研修に参加して、自分自身の実行力のなさ、言語化することの大切さ、書くことの大切さ、どうすればできるか、いつまでにできるかを考えることが大切なのだを学んだ。

#### 【参加前】

所属施設の摂食嚥下に関する事(知識、スキルの伝達)について、嚥下状態が改善していく利用者の増加に伴い、一人で駆け回っていくことに無理が生じているところでの今回のセミナー参加でした。自身が未熟なことを摂食嚥下チーム運営に向けて動けない言い訳として、日々自分のやることに忙殺され、「やらなきゃ」というあせりだけが募っているところでした。

#### 【参加後】

自分の長所、短所、目標を明らかにしたうえで、今後やるべき事を外的言語として顕在化することで日程とやるべきことの内容について明確化し、あとは予定通り実施していただくとし、頭の中でもやもや考えていたことを具体的にすることができました。『継続は停滞なり』を肝に銘じます。

情熱はあるけど、組織とどのように関わると良いのか等頭の中もまとまらない状態でしたが、参加後は、自分の強さ弱さを知ることができて情熱をどのように進めるのかを具体的に学べた。

## 【セミナーで学んだことをどのように現場で活かしていきますか？】

目標を具体的に、いつまでに、何を、どうするのか、明確にして嚥下チームを作ります

まず、KTチャートで嚥下障害患者さんのアセスメントをして看護展開します。それを院内研修で事例として提示し、患者を多面的に観る重要性を伝えたいとおもいます。また8月の小山先生の実技セミナーに参加させていただき、9月に行う自施設の新人を対象としたフォローアップセミナーで食事介助セミナーを開催したいと思います。

早速、できることから行動に移します。

小山先生の話されたキーワードをつなげ、目標設定を数値化することにします。

- ・患者様の幸せと喜びが、医療人の仕事のど真ん中であることを肝に銘じる。
- ・自分の思いを、徹底的に「何故?」と突き詰めてチームのスタッフに伝えていく。
- ・目標には期限と数字が必要。具体的で、周囲にわかりやすくする。

出来ない理由を、職場のせいにしていたりしていた部分がありました。自分は会社の批判ばかりして、何も変えようと努力していなかったんだと、再確認する事ができました。まずは、せめて上司に KTBCを理解してもらい、戦略を考え、症例をとることができるようにしていきたいと思いました。また、スキルアップすることで、自信を持ち意見する事ができるという事を、再確認するとともに、信頼関係を気づいていく事の大切さを、新ためて感じました。職場は、一気に辞職者も出て、今はそれどころでなく、日々の訪問を安全にこなしていくのが、やっとな状況下ではありますが、自分の信念を持ち、少しずつ目標達成していく事ができたらいいなと思っています。「利用者様や家族の想いにより添う」私が常に心がけている事です。

・数字化する・言語化して伝える・仲間、環境整理する

取りかかっていた診療報酬、介護保険加算について、目標にする期間と件数を具体的に設定したいと思います。そのために、まずは、病院(非常勤勤務先)での関係部署を明らかにして、話し合いの日時を決め、それまでに関係部署にお願いしたいことをリストアップしておきます。

これから取り組むことも、期間と件数などを具体的に明確化して目標にすることで、関係者が動きやすい環境にしたいと考えています。現場でも、言語化して伝えるようにする。しかも5W1Hを明確にして話す！！

職種ごと、ご家族への表現については、専門用語だけで話すことのないように心がけてはきましたが、今日からの現場で、改めて、果たしてそうできていたのか、どう表現すべきか、見直して明日に繋げたいと思います。「嫌なことは、一日寝てから言え」、「継続は衰退なり」

これを私自身も頭と心に置いて、患者さんと職場スタッフのために動きます。

普段から現場でも、自分の考えや思いを相手にしっかりと言語化して具体的に伝えていけるようにしていきます！また、個人やチームとして具体的な目標、数値化を掲げて活動を行っていきます！

タイムマネジメントをきっちり行うこと。

頭の中を言語化して伝えること。

今年度新たに取り組む3つのチャレンジに上記のことを活かし、成果を出す。

「伝える力」について、セミナー冒頭で小山先生から「なぜ伝わらないと思うのですか」と問われ、明確に答えることができなかったのですが、セミナーを受講して、これまで「なぜ」と突きつめて考えて言語化していなかったために、「だから」につながっていなかったということに気づきました。したがって、伝える内容が具体的でなく、わかりにくかったのだと反省しました。

現場では施設の入所者さんやご家族の立場に立って、複眼的なものごとを捉え、5W1Hに沿って考えを整理して具体的に伝えていこうと思います。さらに、目で見えない事象や背景を見る努力をし、どんな場合でも先を見据えて、どうすればできるかを考え続けていきます。

まずは、私のお経営運営する訪問看護ステーションの職員に小山先生の実践力を共有して、地域でも広めていきたいと思っています。まだ在宅では、それを実践しようとする看護師があまり見当たらないと思われるので、どのように進めていくかに課題を感じている。

一番はどんな時でも患者・そのご家族を中心に考え、寄り添うことを念頭に置いて仕事に取り組むこと。そして現場に戻ると、どんな月日が経ってしまうので、まずは上司と戦略を練り、「具体的に何をいつまでに」という行動計画を7/4に立てることにしました。言語化していくことは、日々の業務の中で実現できることなので、実践していきます。そして頭の中身をどんどん書いていくことで整理することも実践していきます。

セミナー終了後、以前より協力的だった看護師、介護士に摂食嚥下チームとして活動していきたい旨打診し了承を得ました。今後は、摂食嚥下チームとして発言力を持つために、私ももちろんですがチーム員の説得力を高めるための知識・スキルの向上(9月の宮崎セミナー出席予定)、定期的な情報発信による施設全体への浸透、マニュアルの作成、成果の開示など、やるべき課題はたくさんありますが、他職員の協力体制も良好なので着実に実施していきたいと思っています。

言語化がもつ威力を改めて考えることで、今まで問題を抽象的に考えていたように思います。具体的な思考をしていなかったことが行動となり、今の自分の立ち位置なんだと改めて思いました。まずは、自分の思いを言語化することから始めていきたいと思っています。

## 【その他、感想】

今回の研修を受けて、何となくで考えていたということがわかったので、まず、普段から自分の考えを言葉にすることをやっていきます。ありがとうございました。

心機一転がんばれそうです。小山先生ほんとにありがとうございました。先生もお身体に気をつけてますますのご活躍を楽しみにしております。

できれば職種選択に理学療法士を入れていただきたいです。

やはり、小山先生が目の前で語ってくれる言葉には力がみなぎっています。ぜひ、多くの方々に思いを聞いて欲しい。そして、その思いを少しでも前進させる、伝える役割を担っていきます。

最後の、信念については、せめて先生に聞いていただきたく、質眠された時の返す言葉など考え、メモしてただけであったのに、ちらっと見られ「長すぎ、パス」と言われたこと。あの文面内に、自分が伝えたい事「想いを、最期まで貫く」「とどまらない」「日々、流されたい」と書き出していたのに、最後の言葉さえ、小山先生に伝えられませんでした。何か一言いいたいことはないですか？と問われても、すでに委縮してしまい、先生にその言葉を伝えられなかった事。これが、今のふがない自分自身なのだ、再認識しました。ありがとうございました。

連日、本当にありがとうございました。諦めてないもの、上手く先に進めないことにヤキモキしていたところを、強く後ろから押され、前から引っ張っていただけました。すぐにはプラス思考に変わるものではないかもしれませんが、プラスになるように考えようとしています！心から感謝しています。今年の宮崎セミナーは、去年までのと更に前進した成功を収めたいと思っています。実行委員のメンバーとも再度話し合っ、具体的に目標を決めようと思います。2日間、本当にありがとうございました。これからも宜しくお願いいたします。

二日間、貴重な経験を積まさせていただきありがとうございました！うまく言語化できない、「抽象的」な考えや発言になってしまうなどセミナーを通して自分自身を見つめ、何が足りないのか、どのようにしていけばよいかを考えさせられました！

自分のやりたいことを信念をもってやり続けられたいんだと思えました。そこにサポートしてくれるチーム員を選べばいいんだと思いました。

ありがとうございました。

2日間のセミナーでしたが、あっという間に終わり、終わったときにとても清々しい気持ちでいっぱいになりました。また、受講された皆さまと思いを共有することができたように感じました。このようなセミナーに参加できたことをとてもありがたく思います。小山先生、スタッフの皆さま、本当にありがとうございます。今回のセミナーを通じて、前向きに開き直ることができたことがあります。それは、40を過ぎたら、長所を伸ばして短所を補うということです。このようにポジティブに考えると、心がとても軽くなりました。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

私の知識と経験とリーダーシップだけでは力不足です。多職種連携や指導をしていくためにはそれ相当なエネルギーとリーダーシップが必要と考えます。ぜひ小山先生のお力をお借りしたいと存じます。よろしくお願い申し上げます。横浜にお越しの予定があると思いますが、お時間合わせますので是非お目にかかりたいと思います。来年2月23日土曜か24日日曜の半日のいずれかに私の訪問看護ステーションで小山先生の研修を組みたいので予定を入れてください。申し込みの詳細は、改めて致します。

今回の研修に参加する前までは、自分には荷が重い研修のように感じていましたが、研修後には「この研修こそが今の自分に必要な研修だったんだ！」と心の底から実感しました。参加人数の規模もちょうどよく、参加者同士のコミュニケーションも築くことができ、全国レベルで同志がいるんだと感ずることができました。今回の研修を実現するにあたって、ご尽力くださった小山先生をはじめ、清水さん、KTSMのみなさまに深く感謝いたします。本当にありがとうございました。

毎回小山先生の御顔を拝見させていただくだけで、基本気弱な私の背中を毎回押していただいております。

今回も、組織構築のための精神面・技術面に関するご指導や事例検討を通じて不安を一つずつ払拭することが出来ました。

不安は尽きることはありませんが、定期的に小山先生の御顔に手をあわせて充電させていただきます。(次は7月の全国大会！)ありがとうございました。

先生が話された理想を現実化するための「課題は希望」との言葉が印象に残っています。自分の考えはまだまだ抽象化していますが、言葉にする習慣から始めていきたいと思ひます。ありがとうございました。

## 【セミナー中の様子】



スタッフみんなで食品の準備中♪



講義と実習を行いました



1日目終了～！  
お疲れ様でした



口から食べる幸せの輪を広げましょう

みなさま ありがとうございました

